



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来（沖縄要人来日、訪米）（松岡主席39.11.16 外務省外交史料館レファレンス番号：H220418）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(2)No.1 公開日：平成22年11月26日 外務省外交史料館管理番号：A'.3.0.0.7-1(16) CD・DVD番号：H22-004
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43314
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

松岡主席

29
11
16

大臣秘書官 派
(19日付34)

アメリカ局長 出
参事官 出
北米課長 出

松岡沖繩行政主席の大臣表敬について

(昭39. 11. 16) 坊
* 北

総理府特達局より去る10月31日、沖繩行政
主席に就任した松岡政保氏の表敬である

(1日)

3412. 同主席は11月17日(火)東京、約10日間の
手配で、日本政府、国会等関係各行政
局長(11日)

主席の新任挨拶のため訪問を予定して12日(火)

の日に、椎名大臣に對して12月12日(木)から24

日

12日(火)の間に挨拶に伺い、^(下) ~~意向を伺う~~ 大臣の19部
合に、結果回報願いたる連絡がある。

アメリカ局長 出

参事官 出

大臣秘書官 7

北米課長 出

琉球政府 松岡主席の
椎名大臣来訪の件。

昭39. 11. 18
北米課長

琉球政府 松岡行政主席は政府より

他要路に對する就任挨拶のたう

11月17日上京したが、19日午後3時

椎名大臣に表敬のため来訪するに

たうたう、別添会談メモを提出

するに致しなう。

権名大臣の松岡主席との
会談用メモ
昭和39/1/17
アメリカ局北米課

1. 本日はわざわざ御来訪をいただいてお礼を
申し上げます。

大田主席の後任として、今般琉球政府行政
主席に御就任され、お祝いを申し上げます。時
局多端の折柄、御苦勞に存じます。御自愛を
祈る。

2. (時間があれば、適宜大臣より御質問願
いたい事項)

(1) 最近の沖縄の政情いかん、政情安定のた
めの保守合同の見込はどうであるか。

(2) 自治権拡大問題の現状いかん。

(3) 住民が現在最も欲していることはなんで
あるか。

民生の向上か、自治権の拡大か。

(4) 新高等弁務官の施政は一般にどのように

受取られているか。

3. 備 考

(1) 滞在期間

1/1月/7日～1/1月24日

(2) 松岡氏略歴

68才、ハワイ高校卒、南カリフォルニ
ア大工学部卒、戦前沖縄製糖工場長、戦後
琉球民政府工務部長、現在松岡配電社長。

秘

アメリカ局長 出
参事官 出
北米課長 出

権名大臣, 松岡 琉球主席

會談要旨

昭 39. 11. 19
米, 北

日時, 11月19日午後3時より10分前

場所, 大臣室

陪席者 外務省 西堀参事官
~~日本側~~

琉球政社側 大田内政局長

久平堅康参事官

玉城 秘書

大臣: 本日はわざわざ御来朝を

頂いて有難う。大田主席の後任として

この後玉城に就任せらる

御祝を申し上げます。

松岡: 有難う。今後色々御世

話になることと思う。また係り

の件は亦参考にすることになり

思う。よろしくお祈り。

貴大臣には日米協議委員会に

いって沖縄の在り色々御配慮

を頂いて有り感謝する。又沖縄

の移民問題特に南米における

沖縄移民の現地における保護

に付て御心配を頂き感謝

いたします。

大臣: 今後とも係りとして遠慮なく

御申出頂ければ、出来る限り

限りのことは致したいと思

つてい。

大田： 今回の協議委員会は大変円滑に行なわれたので目出たいと思う、これに対応しわかれわかれは皆様の御期待に沿わねばならないと思つてゐる。

大臣： この頃はアメリカ側も沖縄問題をよく理解し親睦を思はれる。

松岡： 援助資金のことに関し、民政社も予算消化のスピードを早めることに留意してゐるようであるが、今後は更に援助資金の増加ということに善処を願ふ。

今迄は今後の複雑さ、日本と沖縄との予算年度の相違の

2つの点において仲々思う様に見えるが、此の点がよくわかつて来たので今後は一段と改善されると思う。

大田： 予算の項目が、非常に小さな所まで承認を受けることになつてゐるので、これは今少し纏めた形で承認を受けるというつもりにならないものか、と考へてゐる。この問題は技術委員会持ち出しに検討してゐる。

大臣： 最近の沖縄の政情はどうであるか。

松岡： 保守結集というところが当面の重要問題と思う。

沖縄住民も保守結集は早い方がよりと考えており、且つ米側からの要望もあり、年内には是非保守結集して内地の自民党の要望に応えたいと思つてゐる。

大臣：ワトソン高等参事官はどうですか。

松岡：交替の際、どのようなブリーフを受けと来たかと思ふが、前任のキヤウエイとは180度違ふと思ふ。

大田：然し、しんは強いです。

松岡：新聞で特見すると佐藤総理とジョーンズ大統領との会談が

遠からず行われる模様であるが、その際は大統領の行政命令に縛られて高等参事官の仕事がやりにくいようであるから行政命令を改正する という方向で総理が話されるよう貴大臣が篤と総理に申し上げておいて頂きたい。

これは單に沖縄住民の爲ばかりではなく、長い目で見て米国のためでもあると思ふ。情勢が自派拡大の方向に向つておれば、来年11月の選挙にも情勢が有利なるものと思ふ。貴大臣御自身近く

訪米されるとのことですが、

貴大臣からも 国務長官に

この点を等と進言して頂きたい

と思ふ

(終り)

<p>琉球政府 内務局長 大田昌知</p> <p>住所 那覇市牧志町一丁目二番地 電話(自宅)四五(八)番 (政府)二〇三番</p>	<p>琉球政府 行政主席 松岡政保</p>
<p>琉球政府 東京事務所長 久手堅憲睦</p> <p>東京麹千代田區麹町四ノ五番地 櫻井ビル 電話(二六一)五四九六(八)番</p>	<p>琉球政府 行政主席 専属秘書 玉城榮徳</p>